

# 日の里子育てサロン

## ～中学校「子育てサロン」での乳幼児との交流による豊かな心の育成～

### 【主催】

日の里子育てサロン実行委員会

### 【期日】

・毎月第3火曜日(8月を除く)  
・年4回の家庭科での保育実習

### 【場所】

宗像市立日の里中学校北棟1階

### 【対象】

中学生3年生(家庭科) 及び  
全校生徒(昼休みなど)

### 【ねらい】

次世代の親となる子ども達が思春期に家族のきずなや親の思いに気づくことができるよう、中学校内に設置した子育てサロンにおいて、中学生と乳幼児がふれ合う機会を提供する。

### 【内容】

#### 1 日の里子育てサロン開設まで

宗像市日の里地区の民生委員や「宗像子育てネットワークこねっと」(<http://konet.munakata.com/>)の立案に教育委員会の協力を得て、日の里中学校の空き教室を利用して子育てサロンを開設した。

#### 2 活動の内容・様子

##### (1)開設準備とサロンオープン(平成13年9月)

床の張り替えや棚の色塗り、壁の飾りやクッションシート張り、手作りのおもちゃの準備などを行い、9月18日にオープン。



##### (2)開設後のサロンの様子

毎月第3火曜日午前10時から午後3時まで開設。昼休みや放課後、関心のある生徒が顔を出し、笑顔で交流を深める。しかし、子どもとの接し方にとまどったり、全くサロンへ来ない生徒などの課題があった。そこで、家庭科の学習を通して交流を深めることとした。

#### 3 家庭科の授業(平成14年度より)

##### (1)保育実習

乳幼児と遊んだり、おむつ替えをしたり、また食事などの手伝いを体験させる。

○授業で学んだことが実体験でき、乳幼児への関心が高まるとともに心の成長につながる。

・家庭で「自分は何歳で歩き始めたか」などを保護者に問いかけるなど、関心が高まっている。

・保育の大変さや親の思いなどを知るきっかけになっている。

##### (2)妊婦体験の授業

宗像市福祉課や日本赤十字看護学校の協力により、妊婦の装具の装着や保健師・助産師の話を聞く体験をさせる。しかし、1年目の授業では、装具をあまり重く感じず、装着したまま運動を始める生徒さえいるなど、この学習のねらいを十分に達成できなかった。そこで、次年度(平成15年度)からは、次のように手だてを工夫した。

ニワトリの有精卵を「親鳥が温めると雛になる卵です。…妊婦はお腹の中で育てる命をいつも両手でカバーしながら守ります…」と言って生徒に預けた。そして、妊婦の装具と生徒の体の間にその有精卵をはさんで妊婦体験をさせ、母親・妊婦の思いを感じさせた。すると、卵を装具の扱いに細心の注意を払い、装具を付けた生徒が座ったり起きあがったりするときに、自然と手を差し伸べて助け合う姿が見られるようになった。

さらに、平成19年度は、子育てサロンへ参加している母親から、子育てについての話をインタビュー形式で聞いた。このことで、子育ての喜びや苦勞をさらに感じることができ、より確かな家族観の形成や現在の自分の生き方の見つけ

### 【成果】

○中学生が乳幼児との交流や保育実習を通して、子どもを育てる大変さを理解し、親への感謝の気持ちが芽生えると同時に、乳幼児への愛情が深まり、自分が親になることの意味や責任感を自覚できた。乳幼児に対するマイナスイメージ(きたない、すぐ泣く、うるさい)をプラスイメージに変えることができた。

○乳幼児の親同士の情報交換が積極的に行われ、交流の場となった。さらに、中学生と接することで思春期を見通しながら子育てを考えることができるようになった。

### 【課題】

○参加する親がサロンの運営に関わるのが少なく、サロンのスタッフに頼る傾向が強く、支援される側と支援する側という関係になっている。親が運営に関わるよう働きかけ、親自らが運営できるようにしていく。

○教育委員会や中学校、地域の各種団体などとの連携を深め、活動を継続していく。

### 【問い合わせ先】

日の里子育てサロン実行委員会  
宗像子育てネットワーク こねっと

委員長 棚橋(たなはし) TEL 0940-36-0834  
Email : info@konet.munakata.com

【保育体験など中学生との交流の様子】



絵本の読み聞かせ



あやす生徒



妊婦体験



自分の作った絵本の読み聞かせ



交流の様子



交流の様子



← 生徒手作りの絵本 →  
 保育実習などを通してふれ  
 合った乳幼児のことを考えな  
 がら心を込めて作りました。



【平成20年3月18日(火)の取材時のサロンの様子】







	事業名	特徴(先進事例としての注目点)	
Vol.20	<p>日の里子育てサロン</p> <p>～中学校「子育てサロン」での乳幼児との交流による豊かな心の育成～</p> <p>(日の里子育てサロン実行委員会)</p>	<p>1. 子育てサロンが中学校内にあり、乳幼児や保護者、中学生の交流の場となっていること。</p> <p>2. 子育てサロンを活用して家庭科の授業(保育実習等)が行われ、生徒の豊かな学びにつながっていること。</p>	<p>概要</p> <p>参加者の感想</p> <p>子育てサロン紹介サイト (地域応援@なワ! コ・コ・ロビト)</p>

## 子育てサロン参加者の感想

### 1 保護者

- 昨年末より参加しています。中学生が大人よりも上手に子どもを相手にしてくれている姿に感動しています。サロンの内容も楽しく、季節にあった制作など、子どもと一緒に参加できました。
- 1月にはたこ揚げをしたり、2月には鬼のお面を作ったり、季節感のある遊びをさせていただいて、親子ともに楽しんでいます。(参加の回数が少ないので)中学生とはまだあまり遊んだことがないが、校庭で話したりできて、兄弟もいないのでお兄ちゃん、お姉ちゃんと話せることが珍しくうれしそうにしています。
- お兄さん、お姉さんが来るのを子どもは楽しみにしています。恥ずかしがりながらも本を読んでくれたり、体いっぱいを使って遊んでくれたりするので、すぐに仲良くなっています。このような場所が増えるといいなと思います。
- 授業の一環で子育てサロンで交流することはよいことだと思います。実際私の場合小さな子どもとの交流が全くなかったので、自分の子どもにどう接したらよいかとまどうことが多かったです。日の里中だけでなく他の中学校でも実施してほしいと思います。
- 子どもも中学生のお兄ちゃんやお姉ちゃんと遊んでもらうのが楽しいみたいで、サロンはとてもいいことだと思います。小さい子に関わらないこともある中で、授業で小さいことの体験ができることは生徒のためになると思います。体験でやさしい心がもてて、他の中学校でもこうした体験を取り入れたらいいと思いました。

### 2 中学生

#### 【保育実習後の感想】

- とにかくかわいかった！普段あまり小さい子と話す機会がなかったし、初対面の子ばかりだったので初めはすごく戸惑ったけど、おもちゃを使って遊んだりして、本当に素直でまっすぐなんだなあと思いました。泣いてしまったときは困ったけど、笑ったり手をつないだりしたときは、すごくうれしかったです。
- 最初は緊張と不安で赤ちゃんの目を見ることができなかったけど、抱っこしてみるとすごくかわいくて、不安が吹っ飛びました。
- いろんな子がいてびっくりしました。いつも走り回って元気な子もいれば、おとなしくてじっとしている子もいました。

#### 【妊婦体験後の感想】

- 妊婦さんのお腹がこんなに重いとは思いませんでした。歩いたり座ったり、靴下をはいたり脱いだりするのでも大変で、産むときが大変だと実感しました。お母さんになるのはすごく大変なことなんだなあと思いました。つらい陣痛を乗り越えて私を産んでくれた母に、もっと感謝しないといけないと思いました。(女子)
- 座ったり寝たりするのはとてもきつくて本当に大変なんだなあと実感しました。自分が大人になったら(妊婦を)ちゃんと支えてあげようと思いました。(男子)
- 妊婦さんの大変さがすごく分かりました。電車やバスに乗っていて妊婦さんがいたら少しでも楽にしてあげたいと思います。(女子)